

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスいまここmico	公表日	2026年1月14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		プロアスペースを通行活用できるよう活動内容などにより机の配置など日によって変更している。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		男性、女性職員が必ず配置されるようシフト調整し、すべての児童に対応できるよう調整を行っている。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		車椅子児童が通所できるスペースや環境(バリアフリー、トイレの手すり設置、福祉車両、)を確保している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日帰る前の清掃、整理整頓、玩具の消毒など行っている。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		静穏室兼面談室を完備している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		アンケートや保護者面談を通してまた、送迎時やLINE等にてご意見をお伺いし改善すべき点について職員間で話し合う機会を設けている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		毎日の振り返り、毎月の事業所別会議、また、職員の個人面談を通して各職員の意見を把握する機会を設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		年間計画に基づき、新人研修やキャリア研修、外部研修などに適宜参加している。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		児童に合ったより良い支援、また職員にて統一した支援が提供できるよう毎月ケース会議を設けて話し合いを行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		レク会議を開催し、全職員が活動案を提出し、助言や修正を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		毎日事前に打ち合わせを行い、活動の手順や役割分担、注意点を共有し支援を行っている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		翌日に振り返りを行い、記録を残すことできみの職員にも情報共有できるよう努めている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		HUGや振り返りの議事録を残すことでき検討できる環境を整え、検討や改善につなげている。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5			
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校との情報共有は必ず職員に報告を行い、全職員共有認識を持ったうえで支援を行っている。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	2		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5			
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		5		交流については、以前賛否両論あり今年度も実施しない方針となつた。しかし、今後も検討課題とする。

	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特レーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		LINEVOOMにて定期的にペアレン特レーニング動画やご家族様が参加出来る研修の案内を配信している。	
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		毎月の活動案内に加え、活動費や持ち物等の詳細な説明を配信している。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		必要に応じて保護者様と電話やLINEでのやり取りや面談を実施している。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		交流については、以前賛否両論あり今年度も実施しない方針となった。しかし、今後もご負担が少ないので実施できるかは検討課題とする。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		ご心配ごとやご相談があれば、適宜電話やLINE、直接お話しできる機会を設け、迅速に対応できる体制を整えている。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		SNSを通じて適宜情報の発信と更新を行っている。	
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		今年度地域の方を事業所に招いて、活動を行った。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		会社として研修を実施している。	
	47 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		会社として研修を実施している。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		HUGIに発作時の対応など入力、また適宜最新の情報に更新し職員間にて情報共有している。 また、服薬についてマグネットを使用し、職員にてダブルチェックを行っている。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		HUGIにアレルギーの情報を入力、また適宜最新の情報に更新し、職員にて情報共有している。また、クッキング実施時には不安点や疑問点がある場合は事前に保護者差様へ再確認を行っている。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			

心	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットの記録を残し、月1回の事業所別会議や翌日の振り返りにて共有し再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		委員会にて半年ごと全職員対象の研修を行っている。また、虐待に関する全社アンケートを実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		委員会にて半年ごと全職員対象の研修を行っている。	